

令和6年度第5回仙北地域協議会会議録

令和7年3月19日

仙北地域協議会

令和6年度第5回仙北地域協議会会議録

目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	3
■議事	3
■その他	8
■閉会	14
■署名	15

令和6年度 第5回仙北地域協議会 会議録

■日 時：令和7年3月19日（水） 午後2時00分

■会 場：さくまろ館 大研修室

■出席委員：10名

伊藤 歩美、加藤 和浩、小松 彩香、小松 利也
佐々木 千秋、佐藤 尚、佐藤 立哉、須田 和久、
風登 若子、吉田 和博

■欠席委員：4名

鈴木 弘、須田 綾子、田村 雅史、室谷 裕子

■出席職員：6名

佐々木 博喜（仙北支所長） 伊藤 優子（市民サービス課長）
竹村 智子（公民館長）
碓谷 真澄（地域活性化推進室副主幹）
草薨 友也（地域活性化推進室副主幹）

■次 第：

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 議事
 - (1) 令和6年度地域枠予算執行状況について
 - (2) 令和6年度地域枠予算執行実績について
 - (3) 彩色千輪プロジェクト事業について
- 6 その他
- 7 閉会

(午後 2 時 0 0 分 開会)

○地域活性化推進室 草薨副主幹 (以下「草薨副主幹」と表記)

本日は、お忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。ただいまから、令和 6 年度第 5 回仙北地域協議会を始めさせていただきます。はじめに佐々木会長よりごあいさつをお願いします。

○佐々木会長 (以下「会長」と表記)

皆さんこんにちは。今日は年度末のお忙しいところ、ご出席いただきましてありがとうございます。今年は冬が長くて雪が終わったかなと思ったら、月曜日にまた降ってきてドキッとしたんですけれども、そろそろ春がやってきてもいいのかなと思っているところですが、私の周りに風邪をひいている人が多いので、体調に気を付けながら過ごしていただければと思っています。今日、今年度最後の地域協議会ということですが、東部の合同研修会があって、持ち回りで今年は仙北地域が担当して太田と中仙の委員の方と直接お話しして、池田氏庭園をゆっくり見学できてすごく良かったよと言っていて、委員の皆さま方も沢山参加していただいて、一つ大きい行事ができたのかなと思いました。それから 1 月 19 日に仙北地域で毎年行っている未来 (あす) を語る会ですが、今回は大仙市 20 周年ということで、いつもより準備など事務局にご難儀かけましたけれども、若いアスリートの方に触れるいい機会、地域の方もお迎えして良い内容でできたなと思っています。今年も地域協議会の活動を活発的に行えたなと思っています。今日は最後の協議会ですので皆様から色んな意見を頂戴して、来年度に繋げるような会になってもらいたいなと思います。

○草薨副主幹

ありがとうございました。次に佐々木支所長よりご挨拶を申し上げます。

○佐々木支所長 (以下「支所長」と表記)

皆様、おつかれさまでございます。本日はご多忙の中、第 5 回仙北地域協議会にご出席いただきましてありがとうございます。会長のあいさつと重複になる内容かなとは思いますが、まずもって今シーズンの冬でしたけれども、会長さんおっしゃるように長い冬で、例年は暖冬ってことだったんですけれども、今年は通常通り雪が降り積もって、そして 2 月には、寒波が 2 回程やってくるというところで、本来の冬に戻ったのかなと思っています。まず、これからどんどん暖かくなって春が近づいてくるかなとうれしく感じているところでもあります。さて、大仙市ですけれども今週末の 22 日に合併 20 年を迎えることとなります。式典のほうに委員の皆様へもご案内差し上げましたけれども、ご出席いただける方々にはお忙しい中、本当にありがとうございます。今年度、合併 20 年のメモリアルイヤーということで、先ほど会長さんがおっしゃっていただきましたけれども、1 月 19 日に未来 (あす) を語る会を 20 周年記念事業として主催をしてい

いただきました。仙北地域出身の若いアスリートを交えまして、トークセッションをすることで、約300人の方がお見えになりましたけれども、喜んでいただけたのではないかなと、そして貴重なお話しを聞いた機会になったかなと感じているところであります。最後になりますけれども、令和7年度の予算案についてですが、こちら4月に市長選挙を控えている関係で、予算のほう骨格予算ということになっております。先日の議会で可決をいただきまして、骨格予算ということではございますけれども、既に計画済みであったり、協議済みであるものは、全て予算に組み込ませていただいて市民サービスには影響の無いようにという予算となっております。引き続き令和7年度も皆様のお知恵を借りながら、仙北地域が賑わい、元気な仙北地域、大仙市になるよう事業を進めてまいりたいと思っておりますので、どうかよろしくお祈りいたします。本日の案件であります。令和6年度地域予算執行状況、実績状況、彩色千輪プロジェクト関連の3件となっております。よろしくご審議いただけますようお願い申し上げます。結びになります。1年を通じまして、ご審議、ご協議、ご指導を賜りありがとうございました。本日もどうぞよろしくお祈りいたします。

○草薙副主幹

ありがとうございました。この後の進行につきましては条例の規定に基づきまして佐々木会長にお願いいたします。

○会長

それでは、会議を始めます。そして本日、鈴木弘委員、須田綾子委員、田村雅史委員、室谷裕子委員より欠席の届け出がなされておりますが、委員の2分の1以上の方が出席されておりますので、会議は成立していることを報告いたします。次に会議録署名委員の指名を行いたいと思います。会議録署名委員は、佐藤尚委員と佐藤立哉委員にお願いいたします。それでは、議事を進めてまいります。まずは、(1)の「令和6年度地域予算執行状況」について事務局より説明をお願いいたします。

○地域活性化推進室 碓谷副主幹（以下「碓谷副主幹」と表記）

【資料1に基づき説明】

○会長

はい。ありがとうございました。ただ今の説明に関しましてご質問、ご意見ありましたらお願いいたします。

○会長

じゃあ、私からいいでしょうか。15番のさくまろくんのうちわなんですけれども、これは前と同じデザインですか。

○碓谷副主幹

はい。同じデザインになっております。

○会長

どういった形で配布するのでしょうか。

○碓谷副主幹

仙北地域の一番大きいイベントが夏の彩夏せんぼくだと思いますけれども、その時も本部のほうで配布いたしますし、その他にも公民館事業であったり、夏のイベントがある際には、持っていくような形になるかと思えます。

○会長

わかりました。ありがとうございます。あと、21番の高梨小学校100年桜思い出事業ですが、これはもう終わった事業でしょうか。いつぐらいに行われたんですか。

○碓谷副主幹

実施自体は、2月19日に高梨小学校さんのほうでチェーンソーアートを実演して下さる方が、体育館でさくまろくんと高梨小学校という木彫りの置物を彫って下さいました。

○会長

これは、高梨小に飾る感じで。

○碓谷副主幹

はい。そうなります。

○会長

はい。わかりました。あと、ご質問ある方いらっしゃいませんか。

また後で、お気づきの方がいらっしゃいましたらお願いいたします。それでは次に(2)の「令和6年度地域枠予算執行実績」について事務局より説明をお願いいたします。

○草薙副主幹

【資料2に基づき説明】

○会長

はい。ありがとうございました。ただいまの説明につきましてご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

○須田和久委員

支出の内訳なんですけれども、負担金及び補助金となっているところですが、例えば、事業の中で消耗品を買ったといった内訳ではなくて、負担金や補助金として支出しているって意味ですか。

○草薙副主幹

須田委員がおっしゃられているのは、資料1の内容についてでしょうか。

○須田和久委員

そうです。

○草薙副主幹

予算の内訳で、負担金及び補助金となっている事業は、全て市民主導型の事業になっておりますので6分の5補助ということで補助金として支出しております。

○須田和久委員

事業の内容じゃなくて補助金としてということですか。

○草薙副主幹

はい。要項に基づきまして補助対象になる経費は、補助対象額と認めて、その内の6分の5補助という形で補助金額を算出しております。

○須田和久委員

わかりました。今年度、池田家顕彰会へ補助金をいただきまして、無事に事業を行うことができました。ありがとうございました。

○会長

すごく好評でしたよね。あれは今後も継続する予定とかはあるんですか。

○須田和久委員

できれば、協議会の委員の方々にコーヒーを出す機会を設けたかったんですけども、ちょっとできなかったの、継続してやりたいなと思っています。

○会長

どんな感じだったんですか。ちょっと須田さんから教えてもらっていいですか。

○須田和久委員

洋館に来ていただいた方は分かるかと思うんですが、昔は食堂として使っていた部屋な

ので、すごく雰囲気良くて国の指定文化財に指定されている建物で実際の喫茶店のマスターを呼んで、コーヒーを淹れてもらってケーキを食べるといような企画で、2人1組で5組、午前10人と午後10人ということで事前に申し込みを取って実施しました。10月の毎週土曜日にやらせてもらいまして、概ね喜んでもらえたんじゃないかなと思っています。今後についても、続けて行きたいと思っています。

○会長

私の両親も参加して、喜んでいて、わかっている方は窓際の良い席に座って。どこも良い席なんですけれども、終わりの頃には紅葉も見られるでしょうし、良い事業なので続けていってほしいと思います。

ほかに無いでしょうか。大丈夫ですか。では、次に(3)の「彩色千輪プロジェクト事業」について事務局より説明をお願いいたします。

○草薙副主幹

【資料3に基づき説明】

○会長

はい。ありがとうございました。ただいまの説明につきましてご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

○小松彩香委員

店舗に募集するのは、期間とか1年とかあると思うんですけど、一つの店舗が入るように募集するんですか。それともカレンダーじゃないですけども、この日に行きたいですっていう何個かの業者さんの店舗が入るような募集の仕方をするんでしょうか。

○草薙副主幹

はい。設置されている小店舗に関しましては、11月までの営業を1業者さんで行っていただくような公募の仕方になるかと思います。キッチンカーに関しましては、日替わりではなく、週末営業の募集を行う予定としておりまして、複数の業者さんから手を上げていただいた場合には、シフトを組んで色々な食べ物を楽しめるようなものにしたいたいと考えておりますが、何人が手を上げてくれるかというところもあります。予定としては、そう考えております。

○小松彩香委員

ちょっと知っている方の話で、1年間とか継続してではなくてスポットで入れるのであれば、ちょっとやりたかったといような話もあったので、シェアキッチンという形で人が立ち寄れる日が多くなった方がいいのかなと。でも、今回キッチンカーも募集するとい

うことだったので、今後、それも兼ね合いあるかもしれないんですけども、もしよかったら、ちょっと検討してもらえればなと思いました。

○草薙副主幹

ありがとうございます。前向きに検討してまいりたいと思います。この小店舗なんですけど、最低限の設備しか用意してないため、実際は流し台や手洗器くらいしかなくて、他は店舗に入ってくれた業者さんが用意したもので、週替わりってなると店舗内に自分が用意した物の入れ替えであったり、ガスの契約の関係ですとか、そこら辺の調整がどう上手くいくかどうかというところかと思います。ですが、先ほどおっしゃられた意見もごさいますので、検討させていただきたいと思います。

○会長

はい。小松委員ありがとうございました。これ基本週末とかでしたっけ。イベントがある時ですか。

○草薙副主幹

今年度は、募集要項の中に基本的に土日祝は営業してくださいという内容で募集をかけたんですけども、1年間通してやってみて、やっぱり大会とか人が集まるイベントが近隣施設である時は、売上が伸びるけど、何も無い日はあまり売上が伸びないということで、来年度に関しては、応募してくれた業者さんと調整を図りながらイベントに合わせてとかにしていこうかと検討しているところですが、そこは応募してくれた業者さんとのやり取りで決めていければと思っております。

○会長

はい。ありがとうございます。令和6年度こういう取り組みをしたので、様子を見て次に続くようにしていければいいのかなと思います。この資料3のチェンソーアートの実演会は、公民館まつりの時のですか。このアートは公民館に飾ってあるんですか。

○草薙副主幹

公民館まつりに合わせて開催しました。資料の写真にあるのは、来場者プレゼントということで抽選でお客さんに配りました。この方、伊藤さんという方なんですけれども、私達がこういったイベントをやりたいですとご相談させていただいた時に、図書館のほうへチェンソーアートの作品をプレゼントしていただいておりますので、図書館のほうに仙北図書館と彫った作品を展示しておりますし、写真のブルーシートで覆われているところですが、元々は大きな樹木があったんですけども、今冬場で囲っていますけれども、伐採した木を利用してさくまろくんを彫っていただいておりますので、4月になったら囲いを外しますので皆さんご覧いただければと思います。

○会長

この方、高梨小のもやっていたいた方でしょうか。

○草薙副主幹

そうです。

○会長

そうですね。わかりました。ありがとうございます。

では、今日の議題にあった内容3項目については、全て事務局から説明がありましたので、その他のほうに入ります。どんなことでもいいですので、皆さんからご質問、ご意見などありましたらお願いします。今年度最後の協議会でありますので、1年を振り返ってお話ししていただければと思います。

○小松利也委員

この地域枠予算なんですけれども、前年と比べて申請件数とか変わらないですか。

○草薙副主幹

昨年度は23件ですので、2件減となっております。その中には、例えば史跡の里の秋まつり、公民館まつりなんですけれども、昨年まで地域枠予算で実施していたものが、公民館予算に移ったりとか、花の植栽事業をしていた団体さんがあったんですけれども、その団体さんが無くなってしまったということもありました。

○小松利也委員

ありがとうございます。大判振る舞いはできないにしても、こういった良い予算があるのであれば、使えるってことを周知も必要かなと思いますので、そういった部分も取り組んでいただければと思います。

○会長

ありがとうございます。申請が通ると使えるってことは、どういったことでお知らせしているんでしょうか。

○草薙副主幹

以前は、4月初めに仙北地域の予算ということで、1枚物のチラシ作って全戸配布していましたが、現在その予算は無くなってしまいましたので、先日の議会でも質問にありましたが、周知の方法を本庁も含めまして再度、考えていくという形になっています。

○会長

そうですね。たぶん協議会委員の方はこういうのを知っているので、周りで何か行いた

い方で、予算的にバックアップいただきたい方がいたら、委員の皆様からこういう予算があるよってお話ししていただくのも良いかなと思いました。

○吉田和博委員

彩色千輪プロジェクトなんですけれども、神岡の方へ行くと土日すごい人数の子どもと親がいて、あちらで店舗とか出店とかすれば集まるような気がして、逆に仙北地域の中の広い芝生というのがあれば、もしかしたら子ども達がこっちのほうに来るのかなと思いつつ、大きい遊具を市のほうで設置する計画だったので、神岡地域なんですけれども、神岡でそういう出店みたいなのをやっていただければ、来た親子でコーヒー飲んだりジュース飲んだり、できるのかなと思ったところが一つと、この前横堀小学校さんにお邪魔してちょっと思ったことなんですけれど、確か大仙市って一昨年あたり出生者数が300人程度で、小学校の数が20校ですかね。1校で15人ずついけばいいかのいうところで、この前、意見とかサウンディング調査的な各親御さんに合併に向けた調査というのがありました。そして、市の予算のほう厳しいと重々認識した上でお話しさせていただくんですけれども、確かに学校20校あって施設管理課さんのほうで、ファシリティマネジメントで今後設備をどうやって更新して行くかっていうのをやっている中だと思いますけれども、今、子ども達はWi-Fiを使ってタブレットで勉強されているんですね。なんかそれ、聞いてみると中途半端で、LANケーブル1本あれば電子黒板に出せるんですけれど、Wi-Fiの場合って子ども達が全部アクセスポイントに繋いで、そのアクセスポイントが少なければ十分勉強できないということで、とある先生が、アクセスポイントが足りないので授業ごとにアクセスポイントを外して持って音楽室に行ったり、図書室に行ったりしているっていう大変手間な状況みたいだったんですね。その旨、施設管理課さんのほうには、お話ししたんですけれども、管轄外ってことなんで今後、上手くお話ししていただければありがたいかなって。学校の先生が自費でLANケーブルを出して、100m位引っ張ったっていうのがあったので。確かに建物は市の物、学校の先生は県の先生、学校の事務も県の職員なんで、大仙市の施設に対して、県の職員の方が意思疎通が上手くいかないっていうのもあると思うので、今後是非、上手くいくように進めていただければと思います。

○支所長

すみません。ありがとうございます。2つご意見いただいたんですけれども、一つ目の彩色千輪プロジェクト関係なんですけれども、神岡のほうに確かにおっしゃっていただいたように広い芝生の広場があります。この彩色千輪プロジェクトなんですけれども各地域で、それぞれ場所を選定して実施している訳なんですけれども、神岡地域も今度、屋内の遊び場を吉田委員おっしゃった嶽ドームの前のところなんですけれども、そちらのほうに建設予定ということで、そちらを拠点にして活動しています。昨年の10月にすすくキッズフェアってことで、大きな遊具を呼んで1日限りのイベントだったんですけれども、それを芝生の広場でやって何千人という親子が訪れたというようなイベントをやっております。

それを20周年事業でやっていて、令和7年度もそれを春にやるってということで、それを地域枠か彩色千輪の予算だったか忘れてしまったんですけども、やるってことで、そういった神岡地域でも賑わいの創出をしているってような状況であります。常設の店舗とかを作れば尚良く、仙北にも広い芝生があれば尚良くってところで、それぞれ地域の特徴がある訳ですけども、上手く相互関係を使って相乗効果で大仙市が賑わえばいいなと考えているところでもあります。2つ目のWi-Fi環境ですけども、施設管理課のほうにもお話ししていただいたってことだったんですけども、教育総務課のほうにお話ししてみるべきところかもしれませんので、状況を確認しながらお伝えしていきたいなと思っています。

○会長

はい。ありがとうございました。

○須田和久委員

どこ主催かは分からないですけども、弘田の柵で気球を上げたのはどこでやったんでしょうか。

○支所長

地域活性化推進室で、それも20周年の記念事業ということで、予算を付けていただいて実施したものになります。

○須田和久委員

参加させてもらったんですけども、滅多に乗れないのでいい機会になりました。いい企画だったと思います。

○支所長

私、6時前に行った時には既に並んでらっしゃる方がいて、整理券を配ったんですけども、定員150人直ぐ、いっぱいになって、始めは濃霧だったんですが、徐々に晴れて非常に良い天気になって非常に喜ばれた企画となりました。

○会長

でも、あれ天気によりますよね。

○支所長

本当に天気に左右されるってことで、平鹿の熱気球クラブの方々にやってもらったんですけども、雨が降ってもダメだし、風が吹いてもダメということで天気を非常に心配していたんですけども、ずっと晴れていたんですが、あの日だけ霧が出てしまって最初の方に乗った方は残念だったんですけども、段々と晴れてきて非常に良かったなと思って

います。

○須田和久委員

予算の関係もあると思うんですけども、良い体験をさせてもらったんで、もし予算が付くのであれば継続してもらえればと思います。

○会長

毎年、やるものかと思って期待している方も多いと思うですよ。南門に気球という写真も載っていて素晴らしくて、青空にカラフルな気球が映えて非常に良い事業だったなと思います。佐藤委員も乗ったんですか。

○佐藤尚委員

最後の方に、あと1人か2人というところで、乗せてもらって良かったです。

○支所長

すみません。先ほどの吉田委員の質問について、ちょっと訂正させていただきたくて、私、教育総務課って伝えたんですけども、教育指導課になります。

○佐藤立哉委員

さっきの小店舗の話ですが、確かにソーラーとかさっきの天気の話じゃないんですけども、お天気が良くてイベントがあれば、ああいった小店舗も流行ると思うんですが、第三者が勝手に言わせてもらえれば、何か行事あった時も食べ物もコンビニくらいしかないなっていう話を聞いて、こういうの設置していただいて大変いいとは思うんですけども、結論的に赤字とか黒字といったところはどうなのでしょう。

○草薙副主幹

この小店舗だけではなく、何店舗かやられている業者さんなので、他のお店との仕入れの関係もあるかもしれませんので、この店舗単独で赤字なのか黒字なのかは確認しておりません。6月から11月まで営業していただきまして、延べ38日間の営業日数となっております。

○佐藤立哉委員

生業としてやっていくとなればどうなのかなと思って質問させていただきました。

○会長

この後の募集にきてくれるのか、この1年の経験を経てきてくれればいいと思いますけれども。

○佐藤尚委員

全然、別の話になってしまうんですが、生活圏といいますか私が住んでいるところは、太田と仙北の境のところ、要は家がいっぱい立っている道路の補修なんかはよくしてくれていて助かっています。ただ我が家の辺りは、バス路線と広域農道の間の数百メートル間の道路の補修とか整備とかに目が届いていない感じがしないでもないです。これは、除雪に対しても同じ言い方ができるんだけれども、今年、特に仙北地域は除雪して、太田地域で来なかったり、その逆もあつたりといったパターンが結構ありまして、こういうところの疎通をきっちりして、大仙市なんだから旧市町村じゃなくて、共通の目配せをしていただければと思いますのでどうかよろしく願いいたします。

○支所長

はい。ご指摘ありがとうございます。道路の維持関係ですけれども、穴ぼこ関係であれば、穴が開いているっていうことを連絡いただければ、タイミングもあるんですけれども、なるべく早めに補修に行きます。結局、穴に落ちられて車が破損してしまうとご迷惑をかけてしまいますので、それは随時連絡いただければ対応できるときにどんどんしていく形になるかと思えます。あと除雪に関してなんですけれども、やっぱりどうしても旧町村単位で、今はJ Vということで色んな業者さんが共同組合を作って除雪の対応をしています。仙北であれば、進藤産業さんと仙建さんのところに除雪が出る、出ないを判断するセンサーがあるんですけれども、それを基準にして除雪が稼働しております。仙北地域の中でも、そこは色々と調整しながらやっているんですが、やはりご迷惑をおかけしてしまうことはあるかとは思いますが、なるべくそういうことが無いようにというのは、色々試行錯誤しながら前に進めているところだと信じています。

○会長

はい。ありがとうございました。

○加藤和浩委員

公共交通の委員をやらせてもらっていて、地域公共交通活性化再生協議会って何をやっているのって思っている方もいると思いますけれども、私もまだ詳しくは理解していないんですけれども、何回か出席させていただいて、要は地域の細々とした交通機関を維持するために国から補助金をもらうために設置しなければならない会議なのかなと私は理解しています。具体的にどういった協議をしているかという、市でやっているコミュニティバスとか乗り合いタクシーだとか、循環バスとかそういった市で主体的に実施している交通に関する協議をする場で、コミュニティバスの路線をちょっと変えたいとか時間を変更したいとかいったときに協議会に諮ってという感じで決めていくのかなと。あと令和8年から公共交通の計画を新しく立てなければいけないということで、先般皆さんから公共交通のアンケートみたいなものをしていただいたと思いますけれども、乗り合いタクシーとか利便性を向上させて欲しいという要望はどこの地域からも出てました。中にはフリ

一乗降とかの意見もあったんですけども、それに対しては法律があるみたいで、交通量とか安全面の関係ということでしたけれども。地域の足である交通の利便性を向上させるために色々な話し合いをする場なんですけれども、この前のアンケートでは日頃思っていることを書かせてもらいました。ちょっと話がずれますけれども、この前テレビで茨城県から青森県まで路線バスを乗り継いで行くという番組があったんですけども、関東とか東北とか順調に乗り継いで来れたんですが、秋田県に入った途端、バスが続かなくて15キロ歩いたとかそういった内容で、やっぱり人口減少とか利用者が少なくて、秋田県は自家用車も多いからバスとかなくても生活できてはいるんでしょうけれども、それが無ければ生活できない人もいるみたいで、番組を見ていて大曲から秋田まで直通のバスが無いとか、昔はあったんですけどね。なんかすごく寂しい思いをして、テレビを見てました。すみません、とりとめのない話で。

○伊藤市民サービス課長（以下「市民サービス課長」と表記）

今年度は、地域協議会の皆様から地域公共交通について、ご意見を聴取するというところで、14名全員の方から出していただきました。ありがとうございました。今、加藤委員がおっしゃられたように各地域協議会委員から出していただいた意見を抜粋しながら資料に記載されておりました。仙北地域では、乗り合いタクシーを独自にやっておりますので、利用者の意見としては、商業施設で降りたいとか地域内で降りられないかとかという意見もありました。あと板見内線、上野田線では12時台の便が欲しいとかという感じで利用者の意見もありましたので、令和8年度から新しい計画になりますので、地域協議会の皆様から寄せられた意見と利用者の意見など考慮しながら新しい計画策定に向けて検討していきたいと思っております。ありがとうございました。

○会長

ありがとうございました。やっぱり色々な意見を出すことは大事ですね。

○伊藤歩美委員

この彩色千輪プロジェクトの店舗なんですけれども、まだ始まったばかりなので年度を重ねていくにつれて、色々な方々の意見とかを取り入れながらやっていくともっと発展する地域になるのかなと、その期待を持ちながら色々な方の意見を聞いていました。あと、未来（あす）を語る会は本当に海外で活躍している方と仙北地域出身のアスリートの方の話を聞いて本当にすごく良い会だったなと思いました。それで、ああいう方達が、こっちに戻ってきたり、また若い方達が残って発展していくような何かあればいいなというのはすごく自分が思ったことでした。

○会長

ありがとうございました。未来（あす）を語る会にご出演いただいた竹村拓真選手のお母さまがいらっしゃいますので、拓真さんどうですか。お元気ですか。

○竹村公民館長（以下「公民館長」と表記）

沢山の方に来ていただいて、すごくいい経験をさせてもらったと思いますし、本人も実は口下手で人の前で話すというのが中々苦手な人だったんですけれども、色々な経験させてもらって、お話しさせてもらうことができたと思います。なんか、その温かいなって気温とかそういうのじゃなく、あの雰囲気とかがすごく温かくていいなという話はしてました。今、オフシーズンになって、ゆっくりしているところです。本当に地域の方々にいっぱい声をかけてもらって、それが本当に活力になるって言っているので、ありがたいなと思ったところでした。貴重な機会を設けていただいていい経験をさせてもらいました。本当にありがとうございました。

○会長

ありがとうございます。ますますのご活躍を皆さんで応援して参ります。

○支所長

今、良いお話しを聞いたあとにあれなんですけれども、補足といいますか大仙市のホームページとインスタグラムで20周年に向けたカウントダウンの写真をアップしています。その中に先日出ていただいた竹村拓真さんと熊谷仁依奈さんからも写真とメッセージをいただいでいて、拓真さんは昨日載って今日、仁依奈さんが載ってという形で、温かいメッセージをいただいでおりますので、機会があればご覧いただければと思います。もう一つ訂正がありまして、吉田委員の質問で資料を確認していたらですね、神岡のすくすくキッズフェアは彩色千輪プロジェクトで実施するという事で来年度の予算に掲載されておりますので、どうかよろしく願いいたします。

○会長

ありがとうございました。今年度最後の地域協議会ですが、皆様の貴重な意見をいただきまして、ありがとうございました。では時間となりましたので、これをもちまして令和6年度第5回仙北地域協議会を閉会いたします。皆様今日はお疲れ様でした。ありがとうございました。

(午後 3 時 0 6 分 閉会)

仙北地域協議会運営規程第 7 条第 2 項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

佐藤 尚

佐藤 立哉
